

まちの話題



シルバー人材センター準備室 開設以来当初を目途にスタート

高齢者の方が臨時的・短期的に仕事をする事によって健康維持又は、会員の親睦を図り生活に張りを持たせいつまでも元気であつてほしいという目的でシルバー人材センター準備室開設式が3月14日東風平庁舎において行われ、6名に委嘱状が交付されました。当準備室では、来年度当初を目途に準備作業を進めており、室長の本村繁さんは、「役場の後押しを受けながら求人と求職の両方の確保を進めているところ。多くのの方の募集を待っています」と高齢者の方や事業所等と呼びかけています。



戸籍総合システムの導入 見やすくきれいな表示に

平成18年8月より準備作業を進めてきた「戸籍総合システムの導入」が完了し、3月26日をもって町民の皆様にはサービスの提供がスタートできることを受けて同日、役場本庁舎において稼働式が行われました。これによりこれまで発行されてきた戸籍謄本、戸籍抄本は、項目化され、見やすくきれいな表示で証明書を発行できます。

中村町長は「戸籍制度は、人の身分を公証する制度として重要なもの。将来の戸籍システムの全国ネットワーク化に向けて、更なる充実が図られてくるものだと確信している」と新システムの導入期待を寄せています。あいさつ後には、稼働を町長自ら行い伊吉栄徳議会副議長の戸籍証明書を発行し、手渡しました。



南部商業高校 流通ビジネス科を新設 新しい制服と共に新年度をスタート

沖縄県立南部商業高校では、平成19年4月から商業科3クラスを廃科し、流通ビジネス科を新設しました。商品の仕入から販売、広告までを実践的に学ぶことができる当科では販売員としての技術の習得や新しいビジネスを作り上げる起業家としての人材の育成を目標にしています。特に1年生では、徹底したマナー教育を重視し、始業、終業のあいさつはもちろん、日頃から目上の人に使う敬語を指導していく方針です。また、制服のデザインも新設科に合わせて新しくなり4月9日に行われた入学式には、初のお披露目となりました。



手作りロボットを使って 海の尊さ大切さを伝える



沖縄のこどもたちに海の尊さを知ってほしいという目的で県内を旅している愛知県出身の林

正道さんは4月4日、具志頭の福家で具志頭ベースボールクラブの子どもたちや保育園児たちを対象に手作りのロボットを見せながら海の大切さを伝えました。ラジコン操作でジューゴンやジンバイザメなどのロボットをプールに泳がすと、本物さながらの動きに子どもたちは、とてもうれしそうに見入っていました。

林さんは、「環境の変化によって多くの種がめつたにみる事ができなくなっている。この貴重な生物が身近に見えるようなきれいな海にしたい」と子どもたちに訴えました。



住民の生命を守るために 高規格救急自動車運用開始

高規格救急自動車運用開始式が4月3日、島尻消防清掃組合具志頭出張所構内において行われ、島尻消防清掃組合管理者古謝景春南城市長、副管理者中村信吉町長はじめ関係者約50名が出席しました。救急出場件数が増える中、高規格救急自動車は高度救命処置用等機材を装備することにより救急現場及び搬送途上における高度救急医療活動の向上に寄与することを目的に配備されました。セレモニーの後には、救急救命士による高度救命救命処置展示訓練も行われ実践さながらの演習をみせてくれました。



南廃協 住民説明会

南部地区廃棄物処理施設整備推進協議会（南廃協、会長・古堅國雄与那原町長）住民説明会が3月23日、南部福祉事務所で行われ3月31日をもって南廃協の解散が決定したことを報告しました。その中で、12月の理事会で糸満市が南廃協から離脱した経緯などについての説明が行われました。参加者からは、「ゴミ問題についてもっと当事者意識を持つべき」「関心をもたせるように周知していくべき」などの意見がありました。古堅國雄会長は、「南部は一つという基本理念のもとに新たな組織を結成し、ゴミ問題について行政と住民の意識改革を進めていきたい」と今後の方針を述べました。



本に親しむ機会を 増やしジンブナーに

3月30日、具志頭の森下篤さん（沖縄県指定事業所有有限会社あしみじ 取締役）が町役場を訪れ図書購入費として10万円の寄贈を行いました。森下さんは、平成2年に那覇市から母親の実家がある字具志頭に移り住み、現在、介護保険・支援費制度の仕事を5年前に立ち上げ日々福祉向上に奮闘しています。今回の寄贈については、「八重瀬町には、町単独の費用で図書を購

入することが難しいので少しでも役立つように寄贈した。多くの子どもたちが本に親しむ機会が増えジンブナーになってほしい」と笑顔で話しました。



ソテツの枝とりと合わせ て清掃奉仕活動

カトリック開南教会信者10名が3月28日、東風平町営体育館周辺で聖週間に使うためのソテツの枝とりと合わせて体育館周辺の清掃奉仕活動を行いました。神父の中重広さんは、「ボランティア活動を通して八重瀬町と関わりを持ってうれしい。今後ともこのような活動を行っていききたい。また、私たちにできることであれば積極的に協力していききたい」と地域奉仕の活動に貢献している当教会の方針を話しました。

